代々木病院の理念
ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

発行　医療法人財団 東京勤労者医療会　1部60円
〒151―0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷１―30―７
ＴＥＬ03(3404)7661
E-mail address　yo_sosiki@tokyo-kinikai.com
友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

医療安全全職員集会

コミュニケーションの重要性 全職員で理解を深める

代々木病院では昨年12月10日、全日本民医連の医療安全委員長をされている根岸京田（ねぎしきょうた）先生を講師に招き、職員およそ80人が参加して、医療安全全職員集会が開催されました。

グループワークで理解深める

参加者数人が無言で片手を伸ばして紙を支え、別の1人が片手を使ってハサミで切り取る…満員で熱気あふれる会場のあちこちで、そんな光景が見られました。

今回の特徴は、医療安全についての講演と参加者によるグループワークを行ったことにより、講演の内容に対する理解を深めることができた点にあります。

片手だけで協力しながら作業しました

コミュニケーションが大事

まず講演で根岸先生は、一般的に病院の医療安全管理体制が一定整備されている一方で、コミュニケーション不足など人的要因による事故の割合が多いことを指摘していました。

そして安全に医療を行っていくためには、マニュアルなどの整備や組織的な対応に加えて、スタッフ同士で気がついたことがあれば、それに対する提案や要求、報告を行なうことで意志疎通をはかり、安全文化を高めていくことの重要性を説明しました。

講演後は医療現場におけるコミュニケーションの大切さを体験的に学ぶため、グループワークを実施しました。

6～7人で構成された班では、最初に作業の様子を客観的に観察する人を選んだうえで、様々な条件下で白紙からハサミ等を使って輪をつなげていきました。

3回挑戦するなかで最初は「無条件」、2回目は「片手で行う」、3回目は「片手でかつ無言でやる」等の条件が付けられました。

講演する根岸先生（左）

参加者同士が打ち合わせをし意見交換や提案することで、実践的に理解していきました。

そして各班がつなぎ合わせた輪の数を発表するたびに他班の成果に「えっすごい！」「何で多いの？」と驚きの声が上がっていました。

あいまいな部分を学習できた

参加をした通所リハビリの理学療法士・染野敏弘さんは、「わかっているようで、あいまいになっていた部分がしっかり学習することができた」「コミュニケーションの拡大につながった」と感想を述べました。

グループワークで参加者が一緒になって活動する学習会を通じて、医療安全について必要なことをしっかりと学ぶことができました。

真剣に講演をきく参加者

オープニングで決めポーズ

ハートビートコーラス
～冬のギフト～

精神科デイケア　武藤千絵

昨年12月12日に池袋の自由学園明日館で開催。50人分の客席があっという間に埋まり立ち見状態となり、大勢の方々に歌声を届けられました。

昨年はベテランメンバーの就労や、合唱参加者の減少で、とても少ない人数で練習を始めました。しかし当日は、裏方含む約20人が集い無事成功しました。

今年は新たに合唱指導の先生が来て下さることになり、ハートビートの飛躍の一年になりそうです。

ビキニ事件の真相に迫る
第五福竜丸展示館の見学
★初めての方も安心★
わかりやすい解説があります。

対　象：どなたでも参加できます。
日　時：２月21日（土）
午前９時15分
集合場所：新木場駅
りんかい線改札前
主　催：代々木病院、代々木健康友の会、勤医会千駄ヶ谷地域原水禁世界大会実行委員会
■参加希望者はご連絡ください。
連絡先：代々木病院
組織広報室　石井
電話　03(5411)9502

千駄の萱

阪神淡路大震災から先月で20年、「歴史として学ぶ」若者の姿が報道されていた。当時支援に行った者として改めて時の流れの速さを感じる▼さて「2月1日」の日付を見て、悪慣れしている自分に驚いた。32年前のこの日、10年続いた老人医療費が有料化された。月始めに４００円「わずかコーヒー一杯分です」と当時の厚生省。しかしそれは大負担増の入口に過ぎなかった。4年後には８００円に、その後10年の間に最大２千円まで増え、２００２年には定率負担に変わっていく▼国民医療費増加を抑える目的で導入した窓口負担。しかし抑制できる期間は短い。その後医療費は前よりスピードを上げて増大して行く。理由は明解、受診を控えた高齢者が重症化して、より高い検査や薬が必要になるからだ▼医療は診療報酬のもと公共性が極めて高い。政治と直結している所が多い。窓口負担を増やし、消費税を引き上げ、国民健康保険の保険料率を上げ、看護師を増やさず診療報酬を下げる。今年は介護報酬も下げるという。春にはいっせい地方選挙。人に温かい政治家を見極め投票しよう。（み）